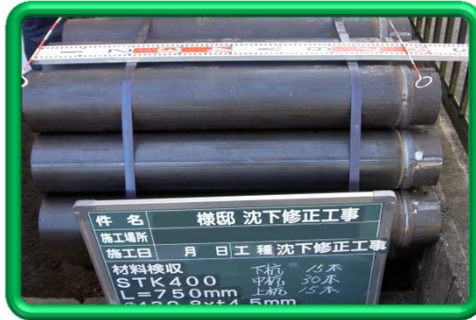


A.アンダーピニング鋼管圧入工法

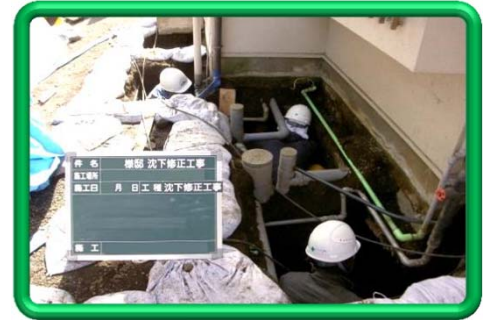
工事の作業例



材料の検収(鋼管)
材質:STK400
長さ=750mm
径139.8×厚さ4.5mm



材料の検収(鋼管継手)
材質:STK400
長さ=750mm
径139.8×厚さ4.5mm



掘削状況



鋼管の圧入



圧入の圧力メーター確認



鋼管の溶接状況



溶接した鋼管



鋼管にアジャスターとジャッキを
セットし、ジャッキアップ



ジャッキアップ完了

良い点

- ・鋼管により建物をジャッキアップできる深さまで圧入しているため、再沈下のリスクが低い
- ・仮住まいの必要なし
- ・騒音・振動が少ない
- ・ベタ基礎・布基礎ともに適用可能

問題点

- ・費用が他の工法比べて高め
- ・工期が他の工法と比べて長い
- ・掘削土の搬出入作業が必要

※最大施工深さは鋼管径の130倍まで(鋼管径165.2mmの場合は21.5mまで)

B.アンダーピニング耐圧版工法

工事の作業例



材料の検収
ジャッキ



材料の検収
アジャスター



耐圧版のサイズを確認する



耐圧版の厚さを確認する



ジャッキ設置場所まで掘削



耐圧版を設置し、耐圧版の水平を
を確認する



アジャスターとジャッキを設置



ジャッキアップ状況



ジャッキアップ完了状況

良い点

- ・鋼管圧入法と比べて工期が早く、価格が安い
- ・仮住まいの必要なし
- ・騒音・振動が少ない
- ・ベタ基礎・布基礎ともに適用可能

問題点

- ・不同沈下が終わった状態でないと、再沈下の可能性がある。
- ・掘削土の搬出入作業が必要